

番号	20	耕地整理記念碑 佐賀縣知事 早川三郎書		
所在地	唐津市 ^{はだ} 半田			
災害別	明治24年（1891）水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和8年4月21日	
特記事項	碑文は一部判読困難			



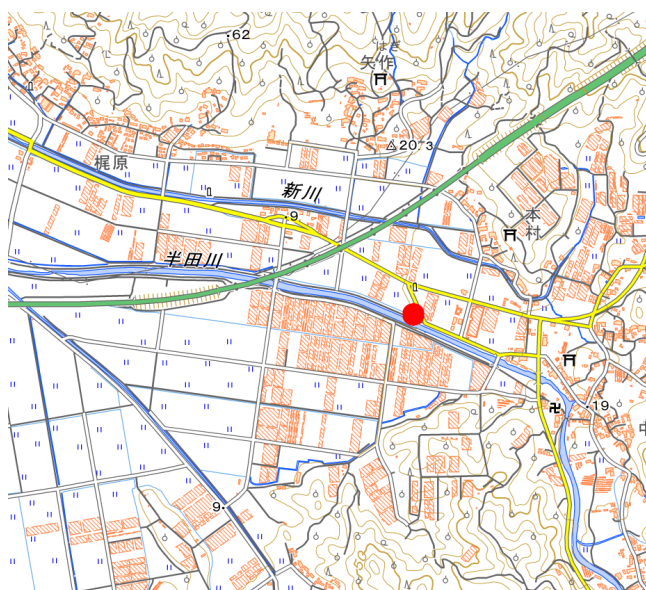
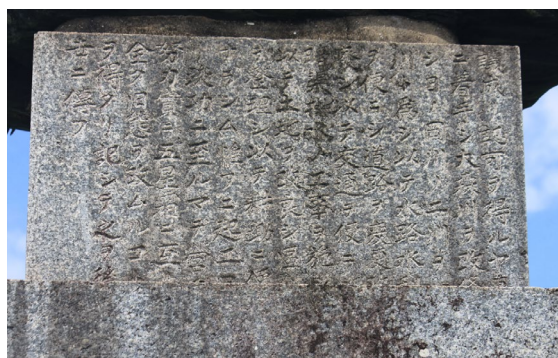
唐津市 半田^{はだ} の半田川沿いにある昭和初期の耕地整理記念碑。明治24年の水害とその後の復旧について記されている。耕地整記念碑とあるが、碑文を読めば、むしろ災害復旧記念碑といった方がふさわしいのかもしれない。

碑文には明治24年の空前の大洪水と記されている。明治24年の大洪水といえば、明治24年7月21日の大水害ことではないかと思われる。「佐賀県災異誌」によれば、この水害で厳木、相知、唐津で大きな被害が発生。当時の鏡村（現在の半田地区を含む）では、家屋流失数戸、溺死者2名とある。

（左側面）「我が半田の地域は道路狹隘地區不整形加ふるに明治二十四年空前の大洪水により 尔^じ 後洪水有る毎に河川埋没し乾田も 随^{したが} って湿田と化するに口口耕鋤と收穫の不利とを蒙ること久し是に於て我が區民は耕地を整理し後 昆^{あに} 百世をして永く其の恩澤を享けせしめんことを謀る」

（正面）「議成り認可を得るや直ちに着手し大森川を改修し日ノ岡川の二川を一川と為し以て水路水利を便にし道路を變更改廢し以て交通を便にし暗渠排水の工事を施し以て土地を改良し 區劃^{くかく} を整理し以て耕鋤に便ならしむ惟ふに起工より竣功に至るまで榮々努力實に五星霜に互り全く旧態を改むることを得たり記して之を後 昔^{せい} に傳ふ」

（裏面）「昭和三年十一月二十九日設立認可 昭和三年十二月三十一日起工 総工費七万九千六百七拾六圓 縣補助金〇千三百拾〇圓 整理前の地籍 民有地 七町五畝二十一步 國有地 五町四反九畝七歩 整理後の地籍 民有地 七拾四町九反五畝壹歩 國有地 八町七畝 組合員戸数 百四十六戸」 （裏下段）組合長以下役員等氏名（略）（原文はカタカナ表記）



国土地理院電子国土 Web



半田川